

三重県史

通史編

近世

2

目次

凡 序 口
例 絵

第七章 村と町の様相

第一節 村と町の戸口変動

一 享保期以前の戸口変動

津藩領／桑名藩領

4

二 享保期以降の戸口変動

子午改と県域内の人口推移／桑名藩領の人口推移／津・久居藩領の人口推移／紀州藩勢州領の

6

戸口変動／神宮領の人口推移／志摩・東紀州地域の戸口変動

三 都市の戸口変動

主要都市の戸口／都市の人口構造と変動

15

四 近世後期農村の戸口変動

23

目次

第二節 村の仕組みと運営

人数増減帳／出生と死亡／結婚と離婚／通婚圏／養子と養女／厄介と義絶

一 村の概要

三重県域の村数／近世村の成立／村高の変遷／相給の村々／国境と郡境

二 村役人と村の運営

村の役職／村寄合／若者組／無足人・地主／村掟

三 村入用と設備

村入用／村の施設／村の備品

四 村の暮らし

村の一年／祭り／人々の楽しみ／家の由緒

第三節 農業生産と入会

一 新田開発と用水の開鑿

溜め池築造と用水開鑿／新田開発／輪中地帯／施工を支えた人々

二 用水の維持管理と水論

用水路・溜め池・堤の維持／用水の管理／水論

三 入会地の利用と山野論

入会地／山の利用／山野論

四 米作と商品作物の生産

米作／木綿の栽培／藍の栽培／菜種の栽培／茶の栽培／そのほかの作物

第四節 農村の変容と村方騒動

一 近世中後期農村の窮乏化

(1) 飢饉と凶作

近世前期の飢饉／享保飢饉／天明飢饉／天保飢饉

(2) 農村の窮乏化

農村窮乏化の構造／村借りと中地

(3) 農村金融と土地移動

紀州藩の名目金貸付／津藩の義倉制度／久居藩の郷積金／頼母子講／土地移動と農民層分解

二 村方騒動

三重県域の村方騒動／家格をめぐる騒動／鈴鹿郡の神騒動／庄屋非違をめぐる騒動／世直し型の騒動

第五節 町の様相

一 町場の成立と運営

近世都市の形成と特色／町域の拡大／町役人

二 町の構造と生業

上野城下／神戸城下／鳥羽城下／四日市宿(町)／龜山宿(町)

三 町の暮らし

第二節 村の仕組みと運営

人数増減帳／出生と死亡／結婚と離婚／通婚圏／養子と養女／厄介と義絶

一 村の概要

三重県域の村数／近世村の成立／村高の変遷／相給の村々／国境と郡境

二 村役人と村の運営

村の役職／村寄合／若者組／無足人・地主／村掟

三 村入用と設備

村入用／村の施設／村の備品

四 村の暮らし

村の一年／祭り／人々の楽しみ／家の由緒

第三節 農業生産と入会

一 新田開発と用水の開鑿

溜め池築造と用水開鑿／新田開発／輪中地帯／施工を支えた人々

二 用水の維持管理と水論

用水路・溜め池・堤の維持／用水の管理／水論

三 入会地の利用と山野論

入会地／山の利用／山野論

四 米作と商品作物の生産

米作／木綿の栽培／藍の栽培／菜種の栽培／茶の栽培／そのほかの作物

第四節 農村の変容と村方騒動

一 近世中後期農村の窮乏化

(1) 飢饉と凶作

近世前期の飢饉／享保飢饉／天明飢饉／天保飢饉

(2) 農村の窮乏化

農村窮乏化の構造／村借りと中地

(3) 農村金融と土地移動

紀州藩の名目金貸付／津藩の義倉制度／久居藩の郷積金／頼母子講／土地移動と農民層分解

二 村方騒動

三重県域の村方騒動／家格をめぐる騒動／鈴鹿郡の神騒動／庄屋非違をめぐる騒動／世直し型の騒動

第五節 町の様相

一 町場の成立と運営

近世都市の形成と特色／町域の拡大／町役人

二 町の構造と生業

上野城下／神戸城下／鳥羽城下／四日市宿(町)／龜山宿(町)

三 町の暮らし

第八章 海と山に生きる人々

三重の海と山、その生業の特質

第一節 漁業

- 一 伊勢湾の漁業 157
- 二 志摩の漁業 161
- 三 熊野灘の漁業 165
- 四 捕鯨 168
- 五 藩の漁業政策 172
- 六 漁村の経済構造 175
- 七 魚の流通・加工 178
- 八 漁業紛争 181

第二節 志摩の海女漁

- 一 海女の生業形態 186
- 志摩半島の象徴的漁業／海女漁の三形態／海女漁の装備／保温の方策／潜水の頻度と漁獲
- 二 海女の獲物と年間暦 191

- 三 海女獲物の加工と流通 193

- 四 海女の出稼ぎ 198

上磯稼ぎ／志摩国内部での出稼ぎ／下磯への出稼ぎ

- 五 伊勢参宮文化と海女 203

- 第三節 難船と浦村 208

- 一 江戸時代の廻船と熊野灘 208
- 二 幕府の御城米船監視制度と浦村 211
- 三 難船の救助・処理と浦村 213
- 四 波切騒動 215

- 五 商船の「不正難船」事件 218

- 六 漂流異国船の長崎護送体制 221

- 七 漂流と異国との接触 222

- 第四節 林業（植林と山の生業） 227

- 一 領主政策と林業 227
- 二 薪と炭焼き 230
- 三 植林の成立 235
- 四 山稼ぎ者 237
- 五 山の諸稼ぎ 238

第五節 山の民と鉾山

一 獵師と鉄砲 246

二 木地師 251

三 治田鉾山 253

四 紀和鉾山 257

第九章 虐げられた人々

第一節 穢多身分の暮らしと生業

一 領主支配と穢多身分の成立 265

 近世の身分支配／戦国大名のかわや支配／穢多身分の成立／領主による穢多身分の編成

二 穢多身分の戸口変動 271

 穢多身分の戸口の増加／戸口変動の要因

三 穢多身分の社会的移動 275

四 穢多身分の生業 277

 壬申戸籍に見る生業／穢多身分と農業／皮革業と草履作り／躰牛馬処理と草場

五 穢多身分の住環境 285

六 穢多身分と信仰 286

 穢寺と穢多身分の信仰／会所と寺替え

七 差別の強まりと解放行動

穢多身分に対する差別の強化／丹生寺村かわた太蔵一件

第二節 非人身分の暮らしと生業

一 暮らし 295

 暮らしの分布／ささらの役務と近松寺一件／宇治・山田のささら説経者／伊賀のささら／津のささら説経者／紀州藩勢州領のささら説経者／ささらの暮らしと生業

二 領主支配と非人 303

 桑名藩の非人支配／四日市の非人頭松山仁蔵／津藩勢州領のささらと非人／津藩伊賀領の非人／紀州藩のささらと番人／享保期のささらと番人／村番人の役務と活動／胡乱者改と惣廻り非人番／幕末期の非人番／鳥羽藩の非人組織

三 非人の暮らしと生業 316

 番人の給金／番小屋と道具／非人身分の通婚／身分下と足洗い

第二〇章 商品生産と商人の世界

第一節 町と村の手工業	325
一 伊勢・伊賀・志摩の特産物	325
一七世紀中期の特産品／一七世紀後期の特産品／一八世紀中期の特産品	
二 製陶業	328
「藤堂伊賀」と「復興伊賀」／「古万古」と「復興万古」	
三 鋳物業	332
桑名城下の鋳物師／田光村の鋳物師／津城下の辻但馬と辻越後／中山村の阿保家／上贈路村の鋳物師	
四 製茶業	336
川上茶／川俣茶	
五 織物業	338
伊勢木綿と法田染／津緞子	
六 製紙業	342
名張紙／深野紙／擬草紙製「壺屋の煙草入」	
七 製塩業	345
八 その他の特産品	346
射和懸粉（伊勢白粉）／伊勢型紙／種油「伊勢水」／垂坂麴	
第二節 北勢の湊と商業活動	353
一 伊勢商人と木綿流通	355
(1) 伊勢商人の成立	356
伊勢商人の江戸進出／大伝馬町組の成立	
(2) 伊勢の本家と江戸店	358
店徒／奉公人の雇用と昇進／経営報告と本家の指示／伊勢商人の結びつきと教養	
(3) 伊勢商人の商業経営と木綿流通	361
算用目録と店制／直買い方式から買次方式へ／伊勢国の買次問屋とその支配／白子湊の廻船とその支配／木綿流通構造の弛緩と強化再編	
(4) 伊勢商人と領主	364
為替方と銀札方／御用金と専売制	
(5) 幕末維新期の伊勢商人	366
幕末維新期の経営／維新政権と伊勢商人	
二 白子湊と木綿流通	369
木綿流通と白子湊／白子廻船の活動	
三 四日市湊と商業活動	375

近世前期の四日市湊／近世中期の四日市湊と諸廻船／納屋地の形成と干鯛商人／干鯛・粕流
通と四日市湊／木綿流通と四日市湊／近世後期の四日市湊

四 桑名湊と商業活動

..... 386

城米集散地としての桑名湊／城米輸送と桑名湊／桑名湊の商取引／材木流通と桑名湊／近世後
期の桑名湊の衰退

第三節 中南勢・志摩・東紀州の商人と流通

..... 396

一 津城下の商人と商業活動

..... 396

津城下の株仲間／木綿商の川喜田家と田中家／内陸輸送

二 松坂の商人と商業活動

..... 401

近世初期の松坂商人／松坂の伊勢店と江戸店／木綿買次問屋と三井家・長谷川家／大口からの
移入品／松坂御為替組と松坂商人

三 神宮の門前町商人と商業活動

..... 407

米・酒・魚の流通／大坂から伊勢への積荷物

四 志摩・南伊勢の湊と商業活動

..... 412

鳥羽湊の商人と商業活動／小浜湊の役割／太平洋沿岸の諸湊の役割

五 東紀州の諸廻船とその活動

..... 417

東紀州の船の特徴／鵜殿廻船・新宮廻船の炭・木材輸送／尾鷲の廻船業

第四節 私札と藩札

..... 424

一 私札と藩札に見る具域の特徴

..... 424

二 神宮領の私札「山田羽書」

..... 425

(1) 前期山田羽書

..... 426

神宮領における初期私札／慶長～寛永期の動向／承応期の動向／寛文～元禄期の動向／宝永～

享保期の動向／一八世紀後半の流通範囲／文金羽書／元文改革

(2) 後期山田羽書

..... 435

寛政改革／羽書取締役と問屋街河崎／後期山田羽書の通用の特徴／山田羽書流通の終焉と度会府札

三 松阪市域とその周辺地域の私札と藩札

..... 440

神宮領以外の初期私札／紀州藩札／津藩札／鳥羽藩札／藩札処分の様相

四 松阪市域外の主な私札と藩札

..... 446

第一章 街道と旅人

第一節 街道の整備

..... 453

一 宿駅の設定

..... 453

徳川氏の宿駅制度導入／東海道の宿駅／脇街道／県域内の主要街道／宿場町の成立

二 宿駅の機能

..... 461

人馬の負担／問屋場／休泊施設としての本陣・脇本陣／四日市宿本陣の交代／旅籠屋
 三 人馬賃銭 468

東海道の人馬賃銭／荷物の重量と賃銭／人馬利用と先触／寛保二年桑名宿の訴訟／宝暦二年桑名宿の敗訴
 四 具域の宿駅と人馬賃銭 474

津藩の宿駅制度／伊勢街道・伊勢別街道の人馬賃銭／伊勢街道の立場／初瀬本街道・初瀬表街道の宿駅と人馬賃銭／和歌山街道の宿駅／熊野街道の宿駅／伊賀国諸街道の宿駅と人馬賃銭／菰野周辺の街道の人馬賃銭／巡見街道と巡見使通行

第二節 助郷制度

一 宿駅と助郷

東海道の常備人馬／東海道の助郷制の成立

二 東海道四日市宿の助郷

元禄七年四日市宿の助郷村／四日市宿への加宿／正徳六年四日市宿の助郷村／延享三年の組替え
 ／宝暦十年四日市宿の助郷村／増加する助郷村／遠隔地へ拡大する助郷村

三 困窮する宿駅・助郷村

庄野宿・助郷村の困窮／坂下宿・助郷村の嘆願／坂下宿の特殊事情

四 諸藩領内の助郷

津藩の助馬対応／伊勢神宮の遷宮と津藩の対策／津町伝馬への救金／鳥羽藩領等の助馬

第三節 伊勢参宮と諸国巡礼

一 伊勢参宮のもつ意味

寺社参詣と信仰／天正式年遷宮の意義／伊勢御師の活動／伊勢講／繰り返された伊勢群参

二 江戸時代前期の伊勢参宮

九州大村藩領からの参宮／九州平戸藩領からの参宮／関東地方からの参宮

三 江戸時代後期の伊勢参宮

関東秩父地方からの参宮／関東江戸近郊からの参宮／九州からの参宮／大名の参宮

四 抜参りとお蔭参り

抜参り／慶安三年のお蔭参り／宝永二年のお蔭参り／寛延三年のお蔭参り／明和八年のお蔭参り／明和八年の群参人数／群参者の様子／文政十三年のお蔭参り／文政お蔭参りの混雑ぶり／津藩伊賀領の対応／山田妙見町野間店の宿泊者／お蔭参りの歴史的背景

第一章 宗教・文化・教育

第一節 宗教

一 近世の宗教制度と宗門

宗教の禁制と宗門の様相／キリシタンへの対応／宗教者の来訪と宗派の広がり／吉田家当主の伊賀来訪／伊勢神宮と勸化・巡行者

二 神社・神道にかかわる宗教者と信仰の広がり 583

 地域神社の神主・禰宜と本所／吉田家と地方神主／寛文五年の諸社禰宜神主法度と吉田家／白川家と神主／伊勢神宮と在地の神主／神宮・神社研究と神職／近世における神社信仰の展開／修験者と神社・神宮

三 寺院・仏教宗派の広がりと村 602

 仏教宗派の現在状況／宗派別地域別寺院の状況／宗派分布図について／近世の村落生活と神仏

 寺院

第二節 神宮の学芸活動

一 両宮禰宜の学問と内宮文殿・外宮神庫 618

 両宮の文殿・神庫／幕府の学問奨励／外宮神庫式叙と禰宜らの学問／内宮文殿の掟書と禰宜らの学問／内宮禰宜家の教育・学問

二 豊宮崎文庫とその学問 624

 文庫の創設と「籍中」／文庫創設者の出口延佳／書籍の献納

三 林崎文庫とその学問 630

 文庫の創設／中興の祖蓬萊尚賢／村井古殿の書籍奉納／文庫の講筵と教育

第三節 地域の学芸活動

一 伊勢俳壇と芭蕉 635

 伊勢俳壇の黎明期／西山宗因の来勢と談林俳諧の流行／神風館の成立／『御田屨』の刊行／大

二 伊勢の国学者 652

 (1) 本居宣長 652

 国学者宣長の誕生／国学に覚醒する／国学を極める／国学を大成する

 (2) 宣長の学友 661

 谷川士清／村田橋彦／荒木田久老

 (3) 宣長の門弟 665

 本居春庭／本居大平／服部中庸

 (4) 幕末の国学者 671

 足代弘訓／佐々木弘綱／橘守部

 (5) 地方の蔵書家 672

 文化の中継者II蔵書家／堀内広城と五葉蔭文庫／小津久足と西荘文庫／竹川竹斎と射和文庫

第四節 教育

一 藩校 678

 藩校の設立とその背景／有造館の教育／各藩の藩校改革

二 寺子屋の発達と普及 686

 寺子屋開設の趨勢／松坂城下と周辺の寺子屋

三	心学講舎	996
	立川肥遯の伊賀地域教化活動／東海道筋への普及／伊勢心学の消長	
第五節	漢詩	703
一	宝曆・明和の漢詩興隆	703
	江村北海と伊勢の詩人／奥田三角とその門人／細合半齋の来勢	
二	近世後期の作詩流行と詩人	716
	津阪東陽の詩話／選詩集中の具内詩人	
三	お蔭参りと狂詩	722
第六節	出版	725
一	都市の出版書肆	725
	山田の書肆 講古堂／津の書肆 山形屋大森伝右衛門／本居宣長の著作出版と松坂の書肆／伊賀上野の書肆 西沢長兵衛	
二	津藩校有造館の出版	730
第七節	芝居文化とその様相	734
一	伊勢古市・中之地藏の芝居興行	734
	伊勢歌舞伎の実相／古市・中之地藏芝居の常設／伊勢と上方・江戸歌舞伎／「伊勢音頭恋寝刃」と上方・江戸歌舞伎／「手前味噌」と「伊勢音頭恋寝刃」／伊勢歌舞伎と蟲貞／伊勢歌舞伎と千束屋／千束屋資料／「伊勢歌舞伎浄瑠璃年代記」	
二	町場の芝居興行	745
	松坂城下の芝居興行／津城下の芝居興行／一身田の芝居興行／上野城下の芝居興行／桑名城下の芝居興行／白子・四日市・神戸・久居の芝居興行／都市芝居文化発達の要因	
三	村芝居	754
	村芝居／鳥羽・志摩地域の農村舞台／若者組と村芝居／安乗村の人形浄瑠璃／村を巡回する興行芝居集団／鳥羽藩の施政と村芝居	
第八節	伊勢国の茶の湯	762
一	宇治・山田の茶の湯	762
	宗旦の高弟杉木普齋／普齋没後の茶の湯／広辻通玄齋の功績	
二	松坂城下の茶の湯	767
	先達者藤田適齋／長谷川休拙と松坂社中／松坂社中「融貫社」	
三	榎田川中流域の茶の湯	773
	先達者 竹川政信／射和社中の推移／竹川竹齋と玄々齋／玄々齋代匠 深津宗味／玄々齋の伊勢来訪	
四	異彩の茶匠金森得水	780

第三章 近世考古学

第一節 近世城郭の成立

一 中世城郭から近世城郭へ

中世城郭から近世城郭へ／織豊政権期の城破／一国一城令・武家諸法度と県内の城郭

787 787

二 県内近世城郭の構造

長島城／桑名城／神戸城／亀山城／津城／松坂城／田丸城／鳥羽城／上野城

790

三 近世城郭の石垣

桑名城の石垣／神戸城の石垣／亀山城の石垣／津城の石垣／松坂城の石垣／田丸城の石垣／鳥羽城の石垣／上野城の石垣

806

四 近世城郭の瓦

金箔瓦の使用／桐文瓦の使用／瓦生産法の変化／家紋瓦

817

第二節 近世城下町の発掘調査

一 桑名城下町

桑名城下町の建設／桑名城下町の発掘

824

二 松坂城下町

松坂城下町の建設／松坂城下町の発掘

828

三 上野城下町

上野城下町の立地／上野城下町の発掘調査

829

第四章 幕末維新期の支配と民衆

第一節 幕末の藩政と軍事改革

一 幕末開港と諸藩の海防体制構築

桑名移封と財政赤字／減知の強化と藩札発行／幕末開港と海防体制／定敬の襲封と京都所司代

841

二 桑名藩政の動向

への就任／幕長戦争の敗北と藩政機構の大改革／幕末期の藩財政と領民の負担

843

三 北勢諸藩の動向

争 孤野藩の藩治／孤野藩の軍事改革／神戸藩の藩治と山田奉行就任／亀山藩の軍備充実と藩内抗争

851

四 津・久居藩の軍事改革と無足人

藤堂高猷の襲封と危機意識／津藩の海防体制／軍制の洋式化と海岸防衛／嘉永六年の兵制改革／安政二年の兵制改革／慶応三年の兵制改革／御用金と元治譚／津藩札の過剰発行／久居藩の藩治と兵軍制

855

五 紀州藩軍事改革と地士・帯刀人

865

海防と浦組体制の強化／水野忠央による海防策強化／田丸藩の武備充実／勢州領の地士・帯刀
人の登用／幕長戦争と農兵制の導入／財政難と藩札発行
六 鳥羽藩の海防と軍事改革 872

津藩との共同／鳥羽藩の台場構築／鳥羽藩の兵制／鳥羽藩と財政

第二節 神宮防衛体制 879

一 海防論と神宮防衛論 879

ペリー来航と井坂徳辰／竹川竹斎の神宮防衛論／イギリス船測量問題等と津藩の神宮防衛論

二 勅使派遣と神領民の危機意識 882

山田奉行の神宮防衛対策／勅使の伊勢下向と神領改革

三 神宮防衛体制 883

津藩の神宮警衛／山田奉行の神宮警衛／神宮領農兵／尾張藩の神宮警衛／鳥羽・紀州藩と神宮

警衛

第三節 幕末の社会と民衆 889

一 災害と流行病 889

安政伊賀地震／安政東海地震と津波被害／コレラと麻疹

二 諸騒動の頻発 892

一揆と村方騒動／旧里切・無宿の増加と長刀者／荒神山騒動／専修寺騒動

三 ええじやないか騒動 896

安政の中お蔭／ええじやないか騒動の発生／北勢のええじやないか／津のええじやないか／南勢のええじやないか／神官領のええじやないか／志摩・紀州・伊賀のええじやないか／領主に
よる規制／ええじやないかの終わり／ええじやないかとお蔭参り

第四節 幕末維新の兵乱 909

一 天誅組蜂起と勢伊諸藩 909

天誅組の蜂起／津藩の鎮圧出動／県域内の防衛体制／天誅組の壊滅

二 禁門の変から幕長戦争へ 912

將軍上洛と一会桑政権の成立／禁門の変／水戸藩士の神宮参籠／天狗党鎮圧／幕長戦争と諸藩

三 戊辰戦争 918

慶応三年の京都警衛／旧幕軍の上洛と鳥羽・伏見戦／山崎合戦と津藩／桑名追討令と東征軍の
発駕／桑名開城と定数隊の転戦／赤報隊一件／津藩の東征出兵／関東鎮撫／東北戦争／箱館戦争
／津藩の論功行賞と被害

第五節 維新期の藩政と廃藩置県 933

一 維新期の藩治 933

桑名藩の明治維新／鳥羽藩の藩制改革／紀州藩の敗兵処分／龜山藩政の帰趨／津藩の藩治／監
物騒動

二 度会府・度会県の施政と天皇の神宮親拝 943

度会府の設置と近世的自治の消滅／山田羽書／度会府の神仏分離と天皇巡幸／度会府から度会

目次

三 維新期の藩札・藩債問題と藩財政の破綻 948

維新期の藩札発行状況／津藩の藩札加造事件／維新期の藩債状況

四 廃藩置県 952

第一次廃藩置県／第二次廃藩置県

近世から近代へ

..... 957

- 執筆者一覧
- 協力者一覧
- あとがき
- 図版・表の出典等一覧

口絵目次

目次

1 勢州獲取ノ図

2 三重県水産図解（鯉釣り之図）

3 東海道分間絵図（桑名・宮間）

4 関宿の町並み（亀山市）

5 伊勢参宮道標（津市）

6 熊野古道（馬越峠）

7 伊勢参宮春之賑（昭和四年写）

8 崇広堂（伊賀市）

9 旧豊宮崎文庫（伊勢市）

10 有節万古

11 法田染

12 名所江戸百景 大てんま町木綿店

13 太物丸雛形之図

14 浮絵駿河町呉服屋図

15 伊勢商人長谷川家（松阪市）

16 豊饒御蔭参之図

17 洋式銃（上…ツンナール銃、下…スペンサー騎銃）